

平成24年行政事業レビューシート

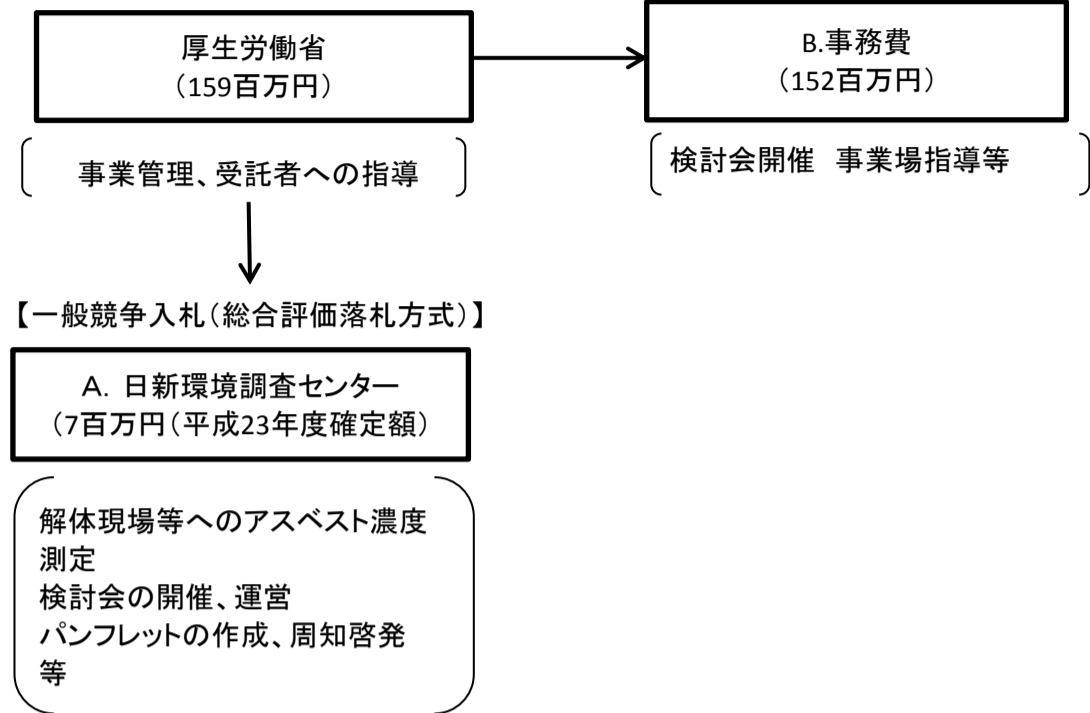
(厚生労働省)

事業名	最新の知見を踏まえた分析方法の検討及び対策徹底のための周知		担当部局庁	厚生労働省 労働基準局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	安全衛生部 化学物質対策課		半田有通		
会計区分	労働保険特別会計 労災勘定		施策名	労働者が安全で、健康に働ける職場を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第3号		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	石綿含有建築物の解体作業は、今後も増加が見込まれ、ピークは平成40～50年度頃になると予想されている。このため、事業者が講じる石綿粉じんのばく露防止対策のより効果的な実施を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	石綿障害予防規則に基づく作業実態の確認のため、作業現場の気中の石綿濃度測定等を実施し、その結果を踏まえ、より効果的な石綿粉じんのばく露防止対策について検討する。また、石綿が漏洩した事案について、その原因及び再発防止対策を検討する。併せて、それらの結果を元に、石綿ばく露防止対策の留意事項について周知を図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算			208	168		
		補正予算						
		繰越し等						
		計			208	168		
	執行額			172				
執行率(%)			83%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)
	調査対象事業場から「役に立った」、「作業環境が改善した」等の有用であった旨の回答を得られる割合を75%以上にする(精査中)		成果実績				集計中	精査中
			達成度	%			集計中	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	20カ所程度の作業場において、石綿障害予防規則等の遵守状況及び石綿粉じん濃度の測定の調査を行う。		活動実績(当初見込み)				24箇所	精査中
							20箇所	
単位当たりコスト	356,893 (円/現場)		算出根拠	委託事業の分のみ計算 7,137,860/20現場 = 356,893 円 一現場あたりの費用を算出				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	事業費	15		本事業を廃止し、「石綿による健康障害防止対策の推進」として予算要求を行うた				
	消費税	1						
	行政経費	152						
計	168	0						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 予算の 状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	労働者の健康障害防止のため、石綿による健康障害を防止するための本事業はニーズがある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	石綿障害予防規則の適切な履行確保のため、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	一般競争入札による総合評価落札方式による競争の結果である。
資金の 流れ、 費目・ 用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札による総合評価落札方式により委託先を選定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	本事業は現場でのアスベスト濃度測定とその結果を踏まえた検討を行うものであるため、単価あたりのコストとして、現場数で計算することは妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	本事業は、労働者が石綿ばく露防止対策のための検討、現場測定を行うものであり、事業者から徴収した労災保険料から経費を支出していることは妥当である。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	-	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	現場測定に必要な経費、検討会の運営費等である。
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は、一定能力のある受託者が実施するものであり、実効性の高い手段と言える。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	20箇所の現場で測定を実施、その結果を元に行政施策に活かしている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	見込みに見合っている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	本事業の成果をもとに、建築物等の解体等の作業での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針を公示した(平成24年5月9日)
点検結果	本件事業では、無駄のない執行を行うとともに、成果についても今後の対策の基礎となるなど、事業の実施実績は、目的に十分即したものとなった。		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	91

※平成23年度実績を記入

最新の知見を踏まえた分析方法の検討及び対策徹底
のための周知



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.日新環境調査センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	現場測定、検討会開催、運営 等	6.2			
管理所経費	人件費	0.6			
消費税		0.3			
計		7.1	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日新環境調査センター	解体現場等への石綿気中濃度測定、検討回開催など	7	4	60%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					